

# 一般質問発言通告書

発言順位 14 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

平成26年 9月 9日

三島市議会議長 土屋 俊博 様

三島市議会議員 13 番 鈴木 文子



質問事項 1	防災対策について
具体的内容	
今回広島市の豪雨による土砂災害などの発生により、いつ起こるかもしれない災害に地域を挙げて備えて行く必要が有ると考える。そこで以下の順に伺う。	
1. 今回の豪雨被害を参考にハザードマップの見直しの有無を伺う。	
2. 避難行動要支援者（旧、災害時要援護者）名簿の143自治会への提供状況はどうか。	
3. 個人情報保護法の特例による災害時名簿周知の方向性はどうか。	
4. 防災会議、自主防災組織への3割以上の女性の登用の状況はどうか。	
5. 災害対策基本法第42条の2、地区防災計画について伺う。	
6. 学区別運動会に、防災を楽しく学ぶ演目の提案をしてはどうか。	
7. 9月1日それぞれの場所でいっせい1分間防災訓練を行ってはどうか。	
質問事項 2	地域包括ケアシステムについて
具体的内容	
2025年までに重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生最後まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制の構築が望まれています。以下の順に三島市の取り組みを伺う。	
1. 地域包括ケアシステム構築のプロセス	
2. 地域ケア会議について	
3. 医療と介護の連携について	
4. 生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加について	
質問事項 3	小中学校でいのちを守る教育を
具体的内容	
心肺停止状態となった人を蘇生させる、AEDの使用が医療従事者以外の一般市民にも解禁され今年で10年となる。学校現場で緊急時もっと使える人を増やす取り組みと共に、子供たち自身のいのちを守るため、危険ドラッグの危険性の周知、教育を望む。	
1. 全小中学校で、AEDの使い方を学ぶ応急手当の講習の実施を望む。	
2. 危険ドラッグ教育の徹底を望む。	